

徳丸 浩 教授 略歴・主要著作目録

略 歴

1979年3月	東北大学法学部法学科卒業（法学士）
1979年4月	日本銀行（調査統計局、金融機構局等、至2012年3月）
1986年3月	国際大学大学院国際関係学研究科修士課程修了（国際学修士）
1987年3月	国際通貨基金（IMF）アジア局（出向、至1990年3月）
1997年9月	世界銀行金融セクター開発局（出向、至1999年9月）
2004年4月	埼玉大学非常勤講師（兼務、至2008年3月）
2005年4月	明治大学大学院兼任講師（兼務、至2008年3月）
2011年3月	埼玉大学大学院経済科学研究科博士後期課程修了（博士（経済学））
2012年4月	立命館大学国際関係学部教授

（主な学内役職歴）

2013～14年度	学生主事
2015年度	教養教育センター副センター長

業 績

著書（単著）

『金融危機管理の成功と失敗』日本評論社、2018年9月

著書（共著）

“Banking on East Asia: Expansion and Retrenchment of Japanese Firms” in *Winning in Asia, Japanese Style – Market and Nonmarket Strategies for Success*, V. K. Aggarwal and Shujiro Urata (eds.), pp.61-97, Palgrave Macmillan, 2002年10月

「東アジアにおける邦銀の経営動向—進出と撤退」『アジアにおける日本企業の成功物語—市場戦略と非市場戦略の分析』（V.K. アガワル、浦田秀次郎編）pp.69～108、早稲田大学出版部、2004年5月

- 「アジア通貨危機と日本の金融機関行動—邦銀のアジア業務：進出・撤退・再進出」『バブル／デフレ期の日本経済と経済政策 第3巻 国際環境の変化と日本経済』（内閣府経済社会総合研究所企画・伊藤元重編）pp.201～234、慶應義塾大学出版会、2009年11月
- 「金融危機管理の国際比較」『バブルと金融危機の論点』（伊藤修編）pp.139～168、日本経済評論社、2010年8月

論文

- “Currency Substitution and Money Demand: Empirical Evidence for Japan” 修士論文（国際大学）、1986年3月
- “Scandinavian and Asian Financial Crises: Their Resolutions and Implications” *Asian Economy and Social Environment* Vol. 2（埼玉大学大学院経済科学研究科）、2009年3月
- 「金融危機管理の国際比較」『経済科学論究』第7号（埼玉大学経済学会）、2010年4月
- 「金融危機管理の国際比較分析によるプルーデンス政策の研究」博士論文（埼玉大学）、2011年3月
- 「日本経済：失敗の本質」『立命館国際研究』33巻4号、2021年3月

学会報告等

- “Japanese Banking Activity in East Asia During the 1990s”（共同報告）*Developing Asia Beckons Japan Conference*（早稲田大学）、2000年7月8日
- 「アジア通貨危機と国際機関の初期対応」日本国際経済学会関東部会、2007年5月19日
- “Financial Crises in Nordic Countries and in East Asia” *International Workshop SAITAMA*（埼玉大学）、2008年11月29日
- 「アジア通貨危機と日本の金融機関行動」金融システム研究会（中央大学経済研究所）、2009年1月24日
- 「金融危機後の金融制度改革について」金融システム研究会（中央大学経済研究所）、2010年9月11日
- 「飯塚論文へのコメント」日本金融学会2020年度春季大会、金融仲介機関（2）セッション（討論者）、2020年5月（オンライン開催）
- 「銀行と自治体『指定金』で溝」朝日新聞記事コメント、2020年7月3日

社会における活動

京都市指定金融機関選定委員会委員長（2019年9月～2020年5月）